※1 https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/　※2 https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html　※3 https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html

日向市防災ハザードマップ

WEB版はこちらから

災害が迫ったとき、
おかれた状況は一人ひとり違います。
それぞれが自ら判断し、
適切な行動を取らなければなりません！

地域の防災力

自助 1人ひとりが自分の身の安全を守る

共助 自主防災組織など、身近にいる人同士が助け合う

公助 市や県、国などが災害時機能が発揮できるよう備える

相互支援　活動支援

凡例

洪水浸水想定区域（想定最大規模）		土砂災害警戒区域等		
20.0m以上	浸水深の目安	土砂災害の種類	警戒区域	特別警戒区域
10.0m～20.0m未満	5.0m	土石流		
5.0m～10.0m未満	2階建ての建物が水没 3.0m	急傾斜地の崩壊		
3.0m～5.0m未満	2階の床上まで浸かる			
0.5m～3.0m未満	0.5m			
0.5m未満	1階の床下まで浸かる			

洪水浸水想定区域とは、水防法に基づき指定された河川の流域において想定し得る以下の最大規模の雨により洪水に起因して想定される浸水の範囲に関する情報が指定による公表です。浸水区域内であっても、状況によっては浸水する可能性があります。ご注意ください。

■荒谷川上流域雨量941mm　（平成30年12月6日指定）
■川上川上流域雨量843mm　（平成30年12月6日指定）
■小川川流域雨量573mm　（平成31年3月28日指定）
※概ね200年に一度程度で発生する規模の降雨です。

浸水危険予想エリア

浸水危険予想エリアは、地形の改変や標高、潮差と洪水が重なった場合や浸水深誤差を加味し、洪水又は内水氾濫により浸水の可能性のある区域を市が独自に作成したもので、浸水する範囲や深さをシミュレーション等により予測したものではありません。

東九州自動車道　国道　県道　市町村界　大字界　丁目界

土砂災害警戒区域等

土砂災害警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれが発生と認められる区域で、住民等の新規立地の抑制等を目的として宅建業者が指定した区域です。

土砂災害特別警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に生命に危害が生じるおそれが発生と認められる区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備を図ることを目的として宅建業者が指定した区域です。

『平成29年3月31日まで指定済区域』

注・考
各パネル表記は、一定の条件に基づき予測されたものであり、実際の状態や状況等とは異なる可能性があります。
・・・の区間は、一つの区間として想定し得る災害の状態を表示しています。
表示しているパネル情報の他分区については、市が独自に作成しています。

指定避難所一覧

No.	名称	津波	洪水	土砂
16	奥野集落センター	○	○	○
37	永田集落センター	○	○	×
55	旧平岩小学校鵜毛分校	○	○	×
58	美々津小学校	○	○	○
59	美々津公民館	○	○	○
60	美々津中学校	×	○	×
61	落鹿公民館	○	○	○
62	高松公民館	○	○	○
63	宮ノ下地区構造改善センター	○	○	○
64	寺迫小学校	○	○	×
65	寺迫国民体育館(寺迫小学校体育館)	○	○	×
66	旧美々津小学校田の原分校	○	○	×
67	庭田公民館	○	○	○
68	吉年田地区コミュニティセンター	○	○	○
69	旧福瀬小学校体育館	○	×	×
70	福瀬公民館	○	×	○
71	中野原第2地区営農研修施設	○	×	○
72	東郷地区総合福祉センター	○	×	○
73	東郷体育館	○	×	○
74	東郷地区文化センター	○	×	○
75	東郷学園	○	△	○
76	鶴野内区公民館	○	×	○
77	大工野地区集落センター	○	○	○
78	迫野内区公民館	○	○	×
79	東上地区コミュニティセンター	○	○	○
80	八重原区公民館	○	×	○
81	田野区コミュニティセンター	○	×	○
82	田野区公民館	○	○	○
83	稲葉野地区公民館	○	○	○
84	仲深区公民館	○	○	○
85	日坪谷小学校	○	○	○
86	牧水公園ふるさとの家	○	○	○
87	坪谷小学校	○	○	○
88	坪谷区公民館	○	○	○
89	越表区公民館	○	○	○
90	越表地区体育館	○	×	×
91	下渡川地区集会施設	○	○	×

※「×」・・・災害発生の恐れが高まった場合は、最寄りの指定緊急避難場所、または、より安全な場所へ避難してください。
※「△」・・・避難所開設後、災害発生の恐れが高まった場合、施設の上階等へ避難スペースを変更する場合があります。
※市が開設する避難所を含め、災害時に開設した指定避難所はホームページ等でお知らせいたします。
※洪水は塩見川、耳川、小丸川における想定最大規模の浸水想定を参考にしています。

福祉避難所一覧

No.	名称	津波	洪水	土砂
94	障害者支援施設　しおみの里	○	○	○
97	特別養護老人ホーム　立縫の里	○	○	○
98	特別養護老人ホーム　牧水園	○	×	○

※「×」・・・災害発生の恐れが高まった場合は、最寄りの指定緊急避難場所、または、より安全な場所へ避難してください。

指定緊急避難場所一覧

No.	名称	地震	津波
55	旧平岩小学校鵜毛分校グラウンド	○	
58	美々津小学校グラウンド	○	○
59	美々津児童遊園	○	○
60	美々津中学校グラウンド	○	
64	寺迫小学校グラウンド	○	○
66	旧美々津小学校田の原分校グラウンド	○	
68	吉年田地区コミュニティセンター敷地	○	
69	旧福瀬小学校グラウンド	○	
71	中野原第2地区営農研修施設敷地	○	
75	東郷学園グラウンド	○	
78	迫野内区公民館敷地	○	
80	八重原区公民館敷地	○	
81	田野区コミュニティセンター敷地	○	
82	田野区公民館敷地	○	
83	稲葉野地区多目的集会施設敷地	○	
84	仲深区公民館敷地	○	
85	日坪谷中学校グラウンド	○	
86	牧水公園ふるさとの家広場	○	
87	坪谷小学校グラウンド	○	
91	下渡川地区集会施設敷地	○	
162	高松児童遊園	○	○
163	JA日向美々津支店敷地	○	○
164	美々津・愛宕神社境内	○	○
165	美々津・忠魂碑	○	○
166	庭田グラウンド	○	
167	出口地区集落センター敷地	○	
168	東郷グラウンド	○	
169	羽坂地区生活改善センター敷地	○	
170	成願寺境内	○	
171	旧東郷小学校グラウンド	○	
172	旧越表小学校グラウンド	○	

※指定でない公園等でも、安全の確保からあるためであれば、一時的に避難されても差し支えありません。（必ずしも、指定緊急避難場所に逃げるということではありません。）
※津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに高台に避難してください。

指定緊急避難場所一覧（津波避難ビル）

No.	名称	詳細
236	三股病院	3F以上廊下、食堂、屋上

要配慮者利用施設一覧（洪水・土砂災害）

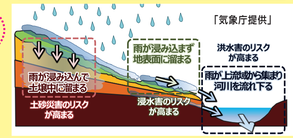
No.	名称	洪水	土砂
60	美々津中学校		×
64	寺迫小学校		×
75	東郷学園	×	×
87	坪谷小学校		×
98	特別養護老人ホーム 牧水園	×	
171	東郷学園若竹分校	×	
236	三股病院	×	
236	三股病院グループホームみみつ	×	
236	ケアホーム　みみつ	×	
239	美々津保育園		×
240	寺迫幼稚園		×
241	やまげほいくえん	×	
244	日向市立東郷病院	×	
245	有料老人ホーム望山荘	×	
252	グループホーム 静妙庵	×	
253	グループホーム仰星台入綾	×	
254	グループホーム仰星台東郷	×	
255	日向市立鈴峰園	×	×
256	宅老所みすず	×	

河川の水位・防災気象情報と避難情報

河川氾濫　土砂災害

ただちに浸水しない場合に避難してください。冠水等でやむをえず避難ができない場合は、自宅や近くの建物の高い階へ一時避難してください。

土砂災害・浸水害・洪水害のメカニズム



大雨警報・洪水警報が発表されたら危険度をチェック↓↓

土砂災害警戒判定メッシュ情報を確認　※1
大雨警報（浸水害）の危険度分布を確認　※2
洪水警報の危険度分布を確認　※3

種類	土石流	がけ崩れ	地すべり
災害イメージ			
特徴	山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊させてしまう。	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し人命を奪う。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため甚大な被害が発生。
主な前兆現象	・山鳴りがする ・急に川の水が濁り流木が混ざり始める ・腐ったstill臭いがする ・降雨が続くのに川の水位が下がる ・水が裂ける音や石がぶつかる音が聞こえる	・がけにひび割れが できる ・小石がパラパラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧き水が止まる・濁る ・地鳴りがする	・地面がひび割れ・陥没 ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り・山鳴りがする　・樹木が傾く ・電気や投座が発生

災害への備えは大切な人と話し合いながら

備蓄品や非常持ち出し品は事前に相談して準備することが大切です。
また、災害時の行動や役割、避難場所や離れ離れになったときの連絡方法など、日頃から防災について話し合うことが大切な人の命を守ることにつながります。

日頃から近所や地域とのつながりをもつ

大規模災害では隣近所全てが被災者となることから、地域で助け合うことで被害を軽減し、災害を乗り切ることができます。そのためには、自主防災組織や地域活動に積極的に参加し、日頃から地域とのつながりをつくっておくことが大切です。

豪雨になる前の早めの避難

1 危険を感じたらすぐ逃げる

猛烈な大雨のときは、防災無線や屋外スピーカーによる避難情報が聞き取れなかったり、突然の大雨で避難情報の発表が遅れたりすることがあります。危険を感じたらすぐ逃げることが重要です。

2 立ち退き避難と屋内安全確保

夜間で見通しが悪いなど、避難場所への移動（立ち退き避難）が危険でできない場合、自宅や近くの建物の高い階へ移動（屋内安全確保）し、救助を待つことが重要です。

3 避難したら戻らない

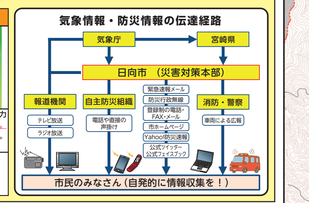
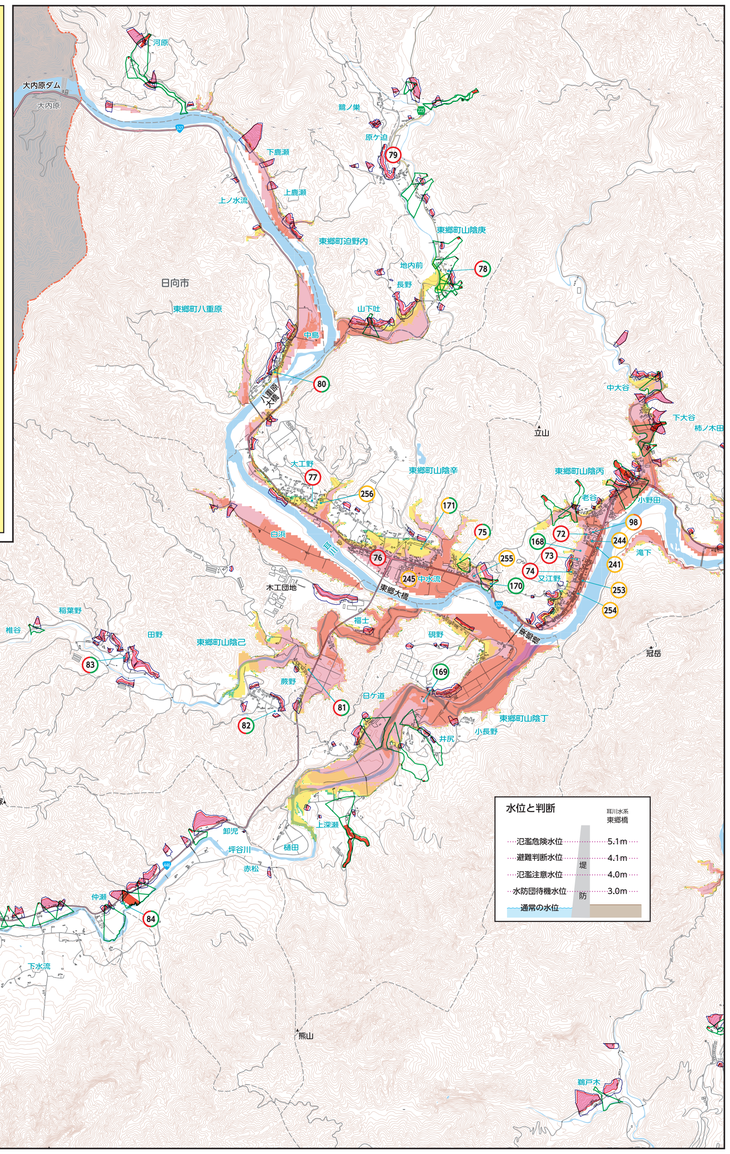
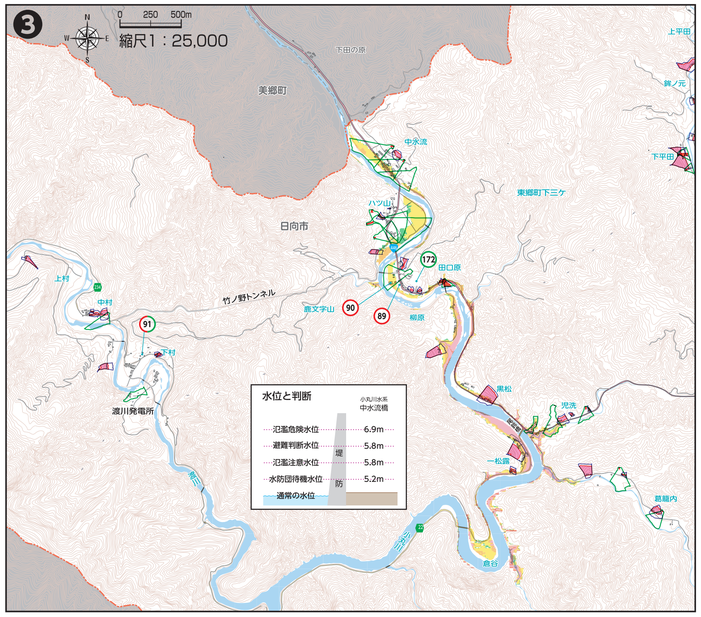
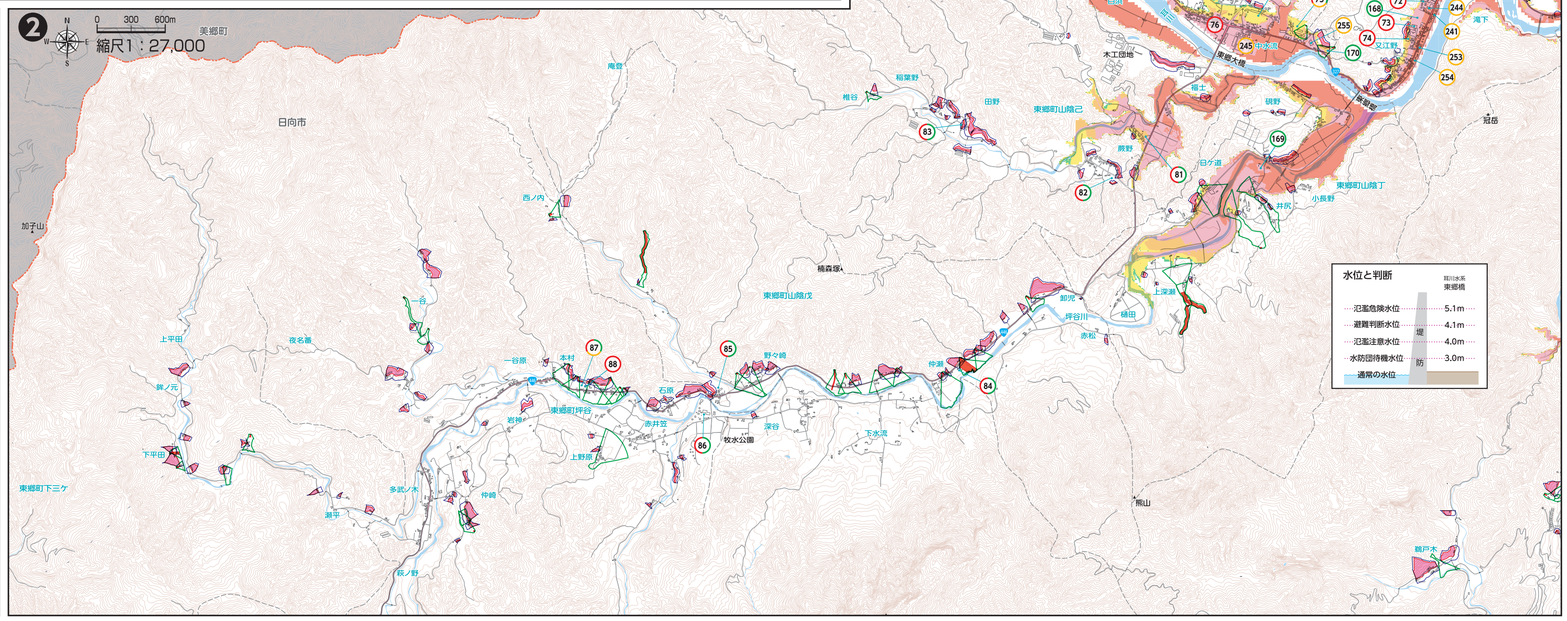
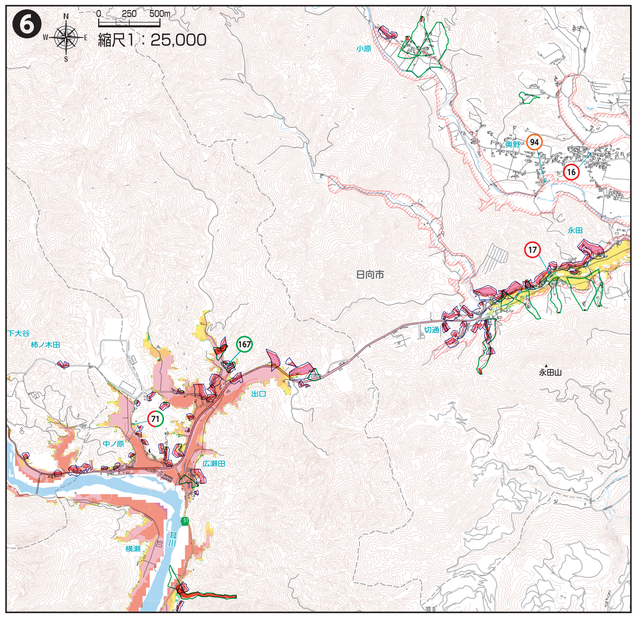
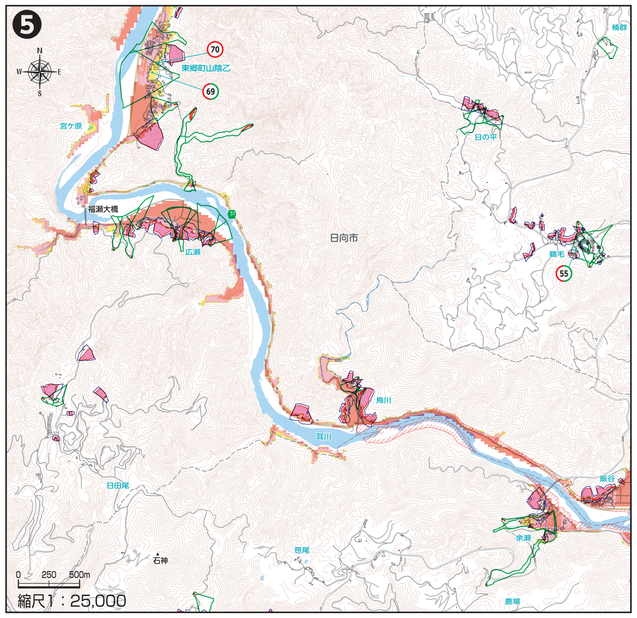
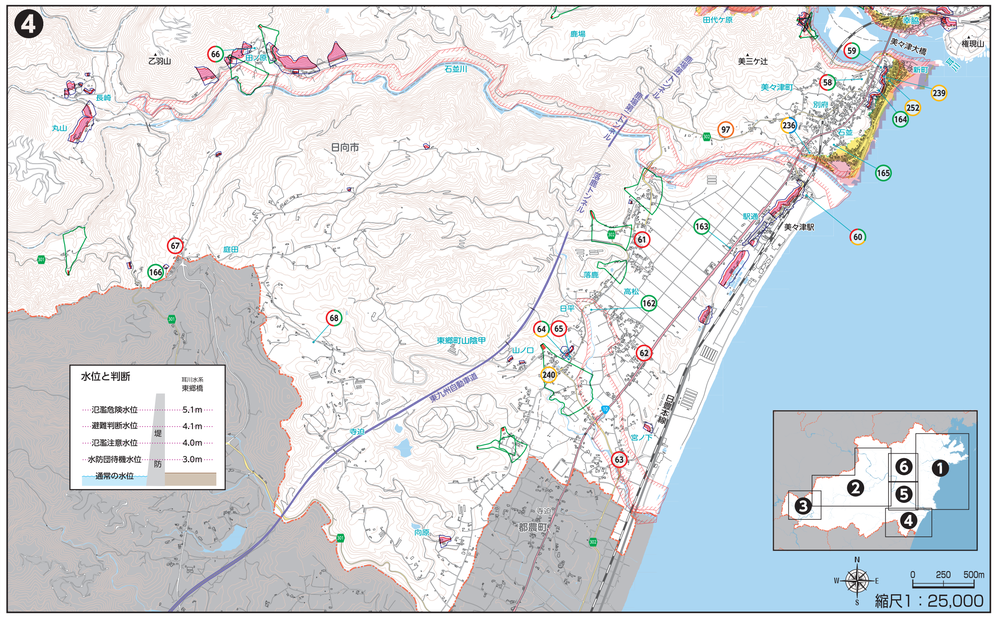
安全が確認されるまで、避難場所から自宅に戻ることは避けましょう。大事なものや持ち出し品を取りに戻ることは危険です。

風水害時、避難するときは…

早めに、安全に　立ち退き避難

緊急時　屋内安全確保

「避難すること」＝「安全を確保する行動」

※避難とは、避難所へ行くことではなく、災害から身の安全を確保するための行動です。

気象情報・防災情報の伝達経路